

2026 年 9 月 17 日

NTT ドコモビジネス株式会社

NTT ドコモビジネス、1GPU から利用可能な AI 開発基盤

「GPUaaS」を提供開始

～AI-Centric ICT プラットフォーム[®]により、ソブリン AI の実現を支援～

NTT ドコモビジネス株式会社(旧 NTT コミュニケーションズ株式会社、以下 NTT ドコモビジネス)は、高性能な GPU リソースと AI 開発環境を統合した GPU クラウドサービス「GPUaaS」(以下 本サービス)の提供を開始します。本サービスの GPU リソースは 1GPU から利用できるため、小規模や短期間な PoC から本格運用まで柔軟に利用が可能です。お客さま専有 GPU 環境とのハイブリッド構成にも対応し、AI/GPU コントローラーによる統合管理を実現します。また、「docomo business RINK^{®※1}」などの閉域網接続や、法人向けクラウドサービス「Smart Data Platform クラウド/サーバー」(以下 SDPF クラウド/サーバー)との連携により、日本国内で AI 処理やデータの管理・保管を一体的に行うことを可能にし、企業が重視するデータ主権に配慮したソブリン AI^{※2}の実現を支援します。

1. 背景

生成 AI や AI エージェントの活用拡大に伴い、企業では AI モデルの開発・学習・推論を支える AI 開発環境と、高性能な GPU を迅速に利用できる基盤への需要が高まっています。一方で、GPU の不足や価格高騰に加え、AI 開発環境の構築・運用には専門知識やコストが必要なため、AI 活用の障壁となっています。加えて、AI 需要の拡大に伴うデータセンターや電力リソースの制約、高性能な GPU の発熱量増加への対応も新たな課題となっています。今後は、データセンターの分散配置や地域ごとの電力リソース活用を前提とした AI 基盤の構築が重要になると考えられています。また、機密性の高いデータを AI に活用する企業では、データの保管場所や流通経路を適切に管理できる環境が求められており、データガバナンスやデータ主権に配慮したソブリン AI への関心も高まっています。

NTT ドコモビジネスは、本サービスの提供を通じ、企業が活用しやすい AI 基盤の構築を支援します。

2. 本サービスの概要

本サービスは、高性能な GPU と、AI モデルの開発・学習・推論から、AI モデルの検証履歴の管理、データセット管理や、モデルの管理までを支援する AI 開発環境を統合したサービスです。AI 開発企業、製造業、創薬関連企業、大学・研究機関のほか、Private AI 環境を構築したい企業、自社の業務システムやデータ基盤に AI 活用をめざす企業による利用を想定しています。また、NTT ドコモビジネスが提唱する AI インフラ構想である「AI-Centric ICT プラットフォーム^{®※3}」を構成するサービスの 1

つとして提供し、お客さまの生成 AI や AI エージェントの活用拡大、ならびにソブリン AI の実現を支援します。



「GPUaaS」のイメージ

3. 本サービスの特長

本サービスの主な特長は、以下のとおりです。

(1) 高性能な GPU を 1GPU からスモールスタート可能

お客さまは、GPU の調達や資産保有を必要とせず、クラウドサービスとして GPU リソースを 1GPU 単位で利用可能です。GPU リソースを 1GPU 単位で利用開始できるため、小規模や短期間の PoC にも適用できます。初期投資を抑えて AI 開発を開始できるほか、本格利用時にはお客さま専用の GPU 環境へ拡張することで、GPU コストの最適化を可能にします。

(2) AI/GPU コントローラーの提供により、AI 開発・運用を迅速に開始

AI/GPU コントローラーの提供により、GPU の割り当てや利用状況の可視化、JupyterLab^{※4}／Visual Studio Code^{※5}を用いた開発環境の提供、学習ジョブの実行・追跡、データセットおよびモデルの管理を Web ブラウザー上から利用できます。本機能により、お客さまは個別に開発環境を構築することなく、AI 開発を迅速に開始できます。

(3) GPU 環境のハイブリッド構成で柔軟に拡張

本サービスは、お客さま専用の GPU 環境を組み合わせたハイブリッド構成に対応しており、PoC から本格運用まで柔軟に拡張できます。また、AI/GPU コントローラーにより、本サービスとお客さま専用 GPU 環境を統合管理できます。さらに、離れた GPU 環境間を「docomo business APN Plus^{®※6}」などの大容量・低遅延なネットワークサービスで接続することで、大容量データの連携や低遅延な GPU 活用を実現します。

(4)ソブリン AI の実現を支援

本サービスは、「docomo business RINK®」などを介した閉域網接続により、お客さまの拠点や業務システムと安全に接続できる AI 基盤を提供します。また、業務システムのアプリやデータベースとの連携や、AI で活用するデータの Wasabi オブジェクトストレージへの保管など、SDPF クラウド/サーバーのコンピュート、ストレージ、セキュリティなどの各種メニューを組み合わせることで、AI 処理から業務システム連携やデータ保管までを国内で完結できます。機密性の高い情報を扱う企業のデータ主権に配慮したソブリン AI の実現を支援します。

4. 提供開始日

2026 年 9 月 30 日

5. お申し込み方法

NTT ドコモビジネスの営業担当までお問い合わせください。

6. 今後の展開

NTT ドコモビジネスは、本サービスをはじめとする高性能なコンピューティング環境を拡張するとともに、柔軟なネットワーク、マネージドサービスを組み合わせ、「AI-Centric ICT プラットフォーム®」の拡充を進めます。また、「docomo business SIGN®※7」との連携を強化し、IT システム領域から IoT・エッジなどのフィジカル領域までを含めた AI 活用基盤の提供をめざします。

7. NTT docomo Business Forum'26 出展情報

2026 年 10 月 8 日(木)、9 日(金)に開催する「NTT docomo Business Forum'26」にて、本サービスを紹介予定です。公式 Web サイトの展示情報よりご確認ください。

公式 Web サイト：[NTT docomo Business Forum'26](#)

■展示名：AI 活用を加速するインフラ最前線

■展示番号：IF-03

*会場：[ザ・プリンス パークタワー東京 B2 フロア](#)

*日時：2026 年 10 月 8 日(木)、9 日(金) 9:30~17:30

*参加方法：完全招待制

*参加費用：無料

「NTT コミュニケーションズ株式会社」は 2025 年 7 月 1 日に社名を「NTT ドコモビジネス株式会社」に変更しました。私たちは、企業と地域が持続的に成長できる自律・分散・協調型社会を支える「産業・地域 DX のプラットフォーム」として、新たな価値を生み出し、豊かな社会の実現をめざします。

つながり。驚き。幸せ。



<https://www.ntt.com/about-us/nttdocomobusiness.html>

- ※1 : docomo business RINK[®]とは、ネットワークとセキュリティを一体提供する次世代 NaaS(Network as a Service)です。
- ※2 : ソブリン AI とは、AI に用いるデータや AI 基盤を、自国・地域の法制度や企業の方針に基づいて管理・運用する考え方です。
- ※3 : AI-Centric ICT プラットフォーム[®]とは、企業が AI を活用して、生産性の抜本的改善、競争力強化やビジネスモデル変革を進める AI 時代に最適な次世代 ICT プラットフォームのことです。
- ※4 : JupyterLab とは、AI モデルの開発・学習・データ分析を行うための Web ブラウザー型の開発環境です。
- ※5 : Visual Studio Code とは、AI モデルやアプリケーションの開発に利用される統合開発環境です。
- ※6 : docomo business APN Plus とは、IOWN[®]の技術を活用した AI 活用を支える高速・低遅延で柔軟な次世代ネットワークサービスです。
- ※7 : docomo business SIGN[®]とは、NTT ドコモビジネスが提供するセキュリティ機能を標準搭載した IoT 向けの NaaS(Network as a Service)です。